



Weekly Report

国際ロータリークラブ会長テーマ
RI会長 ジョン・F・ジャーム

人類に奉仕するロータリー

真岡ロータリークラブ会長テーマ
会長 宇賀神 裕一

絆を育もう



国際ロータリー第2550地区
真岡ロータリークラブ

- 司会 副SAA 渡邊 佳寛 君
- 点鐘 会長 宇賀神裕一 君
- ロータリーソング 手に手つないで

大震災の復興支援も兼ねていきます。お天気もよさそうです。楽しい旅となりますよう、ご参加の皆様、よろしくお願ひ致します。本日は、甚だ簡単ですが、以上、会長挨拶とさせていただきます。

■会長挨拶 会長 宇賀神 裕一 君

皆様、こんにちは。
本日もお客様は、どなたもいらっしゃいません。本日は、炉辺会合の発表です。
一つ目のテーマは、新社会奉仕事業の概要です。



こちらは、理事会で承認されていますが、お金に関することでしたので、再確認も含めテーマにさせて頂きました。

また、もう一つは、次年度事業への要望についてです。ようやく自分の年度が終わりに近づき、金子会長年度が始まるという感じがします。また、金子次年度も興味津々かと存じます。担当されました座長さん方、大変お世話になりました。そして、例会後クラブ協議会を開催しますので、よろしくお願ひ致します。

また、今週の土曜日・日曜日と親睦家族旅行があります。岡本親睦委員長並びに親睦活動委員会の皆様の努力と会員・家族の皆様のご協力を頂き、40名弱の参加を頂きました。今回の行先は、宮城県志津川となります。東日本

■幹事報告 幹事 市村 忠男 君

6月1日(木)例会終了後、新社会奉仕事業について、会長経験者から、直接、ご意見を聞くべく、「PP会議」を開催いたしますので、よろしくお願ひ致します。



■委員会報告 親睦委員会 大越 正和 君

5月27日(土)・28日(日)実施の家族親睦旅行についての集合時間、出発時間、行程表のお知らせです。



野球部キャプテン 杉田 貞一郎 君

6月27日(火)に実施予定の甲子園野球大会に向けて、練習のお知らせと物心両面のご支援をお願いいたします。



MU会場案内

月曜日

宇都宮90 東武ホテルグランデ
小山中央 思 水 荘

火曜日

真岡西 フォーシーズン静岡
宇都宮 東武ホテルグランデ
宇都宮東 ホテルニューイタヤ

水曜日

益子 益子カントリー
しもつけ 石橋商工会館

木曜日

宇都宮西 東武ホテルグランデ
宇都宮北 宇都宮グランドホテル

金曜日

小山東 ヴィラ・テ・マリアージュ小山

会長 宇賀神 裕一 幹事 市村 忠男 会報委員 石塚 龍夫 平石 典嗣 青木 圭太 馬場 照夫 宗像 拓

事務局 〒321-4305 栃木県真岡市荒町1203(真岡商工会館内) URL:http://rc-moka.jp/
TEL.0285-84-2511 FAX.0285-84-2510 e-mail:rc-moka@i-berry.ne.jp

次年度幹事 石塚 龍夫 君

5月18日付の文書で、地区ガバナー及び青少年奉仕委員長名で、次年度交換留学生の受け入れの要請文が届きました。5月28日までに、書類一式を担当委員



まで提出してください。とのことですが、交換留学生は、フランス人のレナさん、16歳です。

留学生の渡航手続き等の関係から、早急に対応していかなければなりません。去る月曜日に、真岡女子高に行き、1年生での受け入れが了承され、留学生は、ロータリー事業を優先した中で、学生生活を送ることとなります。

ホストファミリーについて、早急に決めていかなければなりませんので、会員からの申し出をお待ちしております。

■スマイルボックス報告 久保 賢司 君

宇賀神裕一君 本日は炉辺会合報告です。担当されました座長さん、ご苦勞様でした。土曜日より、親睦家族旅行です。参加の皆様よろしくお祈りいたします。

市村 忠男 君 次年度に向けた会合等で多忙の中、炉辺会合を実施いただきありがとうございます。4人の座長さん、発表よろしくお祈りいたします。現在ある社会的課題にロータリークラブとしてどう取り組むかを議論していただきました。いかがでしたか。ご協力をお願いします。

岡本 俊夫 君 炉辺会合の座長を務められた柳澤さん、本日は、発表ご苦勞様です。27～28宇賀神・市村年度の最後を飾る親睦旅行に37名の仲間と行って参ります。多くの方々より、お心遣いを頂き、参加者を代表してお礼申し上げます。

辻 達男 君 議論百出の炉辺会、まとめ役、座長の渡邊さん、ご苦勞様でした。

久保 康夫 君 金子エレクトが欠席なので、前に座れと言われ、座らせて頂きました。スマイルの予定はなかったのですが、前に座った手前、入れさせて頂きます。炉辺発表の座長の皆様、お疲れ様です。

野沢 巧 君 先日、22日～23日と全日本プロアマトーナメント富士箱根大会にて優勝して参りました。その嬉しさで、誰さんの所へ熱海の優秀なお土産を送ってしまいました。やはりゴルフはパッティングですねー！

中川 宏行 君 炉辺会合C組座長の馬場さん、お世話になりました。報告よろしくお祈りいたします。

豊田 光弘 君 炉辺会合報告Bグループ座長の渡邊さん、多くの意見取りまとめ、大変ご苦勞様です。発表よろしくお祈り致します。

平石 典嗣 君 22日(月)の炉辺会合では、お世話になりました。十人十色の意見、大変勉強になりました。

馬場 照夫 君 炉辺会合の座長をはじめ経験をいたしました。Cグループ会員各位のご協力により無事、果たすことができ、心から感謝いたします。

岡本 佳男 君 各班、炉辺会合ご苦勞様でした。我が班の馬場座長様、発表宜しくお祈りいたします。

■2月23日までのスマイルボックス

前回までのスマイル繰越金	2,164,000
会員	28,000
ビジター	
本日のスマイル合計	28,000
スマイル今期累計	2,192,000
前回までの米山繰越金	48,811
米山	
米山今期累計	48,811
合計金額	2,240,811



いつも、たくさんのスマイルありがとうございます。

■炉辺会合報告

Aグループ

太田 浩彰 君

5月16日(火)

於:日本料理 裕

参加者:会員 7名

市村幹事同席

<会員よりの意見>



議題1 新社会奉仕事業の概要について

- ① 理事会で了承済みのため、実施してみて柔軟な対応でどうか。
- ② 検討委員会のスケジュール化、次年度より会費を集めよう！60周年記念事業に合わせて、7月より資金を調達する。
- ③ 細則改正を含めて、金額や詳細を入れる。
- ④ 学校訪問等で意見も活用。
- ⑤ ロータリークラブの周知。
- ⑥ 担当委員も含め募集要項や公募の仕方。プライバシーに関わる詳細も必要。
- ⑦ 将来は、外部からの寄付も受け入れられるよう継続事業にしたい。

議題2 次年度事業への要望について

- ① 汗のかけるような奉仕事業は？清掃等
- ② 幹事さん、無理をしないようにして下さい。
- ③ 有給休暇制度の導入は、如何？(会長、幹事は除く。)
- ④ スマイルの見直し(文章、会費)、会長挨拶等で周知するようなことなど。
- ⑤ 身だしなみとして、統一真岡RCブレザー等を作ってもよいのではないか。

以上、Aグループの炉辺発表とさせていただきます。

Bグループ

渡邊 佳寛 君

5月18日(木)

於:なが勢

参加者:7名

(内、PPが4名。

幹事は、挨拶後退席)



<会員よりの意見>

議題1 新社会奉仕事業の概要について

- ① 単独のクラブでやるのは難しい。奨学金の話は今までに起こったことがない。社会奉仕は美化運動などの労働が望ましいのではないかと。
 - ② 基本的に反対である。継続するためには基金が必要だし、RCは金を出す団体ではない。出すべきときはもちろん出すが、出す方も、もらう方もお互いに満足できることが前提である。
 - ③ 会費の他にも、米山やその他で大変な金額になる。一時的な情熱で動くべきではない。会員みんなが精一杯のところまで頑張っている。金を出すことで社会奉仕をPRすべきではない。
 - ④ 1,000円ならいいが、最終的に3,000円はつらい。米山や財団、スマイルなどで会費の他に10万円以上かかってしまう。年配の会員は先が長くないのでまだいいが、継続事業になると若い人達の負担が増えてしまうので気の毒である。金だけのRC活動は反対。汗水たらして奉仕するのがRCである。
 - ⑤ とにかく継続事業を立ち上げる時は、気をつけなければならない。会員に負担をかけすぎないように留意すべきである。
 - ⑥ 真岡RCの身の丈を考えて始めるべきである。財源が乏しいのだから背伸びをしてはいけない。余裕のある人ばかりではないので、みんなが平等に参加できる事業を考えるべきである。
 - ⑦ 基本的に賛成。高校生も卓話に来させるか、あるいは、食事をしに来させるだけでも良い。若い人達にRCを知ってもらえば、将来のロータリアンが生まれるかもしれない。
 - ⑧ 身の丈に合った具体的な徴収金額がいくらなのかはすぐに判断できないが、3,000円は難しい。年間36,000円を徴収するのなら、他の削れる事業を削らなければならない。そのためには、この奨学金制度が他の事業よりも、優先順位が高いことが前提になる。
 - ⑨ 結論を出すために例会の数を増やしても、反対意見は述べにくい。会員全員の意見を聞くのならば、無記名でアンケートに答えてもらえばいいのではないかと。
- 議題2 次年度事業への要望について
- ① まず、食事を充実させてほしい。昔は美味しかった。幹事とSAAが話し合うべきである。
 - ② みんなが納得いくようなクラブ運営をしてほしい。会長・幹事を除く理事会のメンバーは、連続3年までとした方がよい。

- ③継続事業にするといずれやめられなくなるのだから、継続事業にする意味をよく考えるべきである。「はが路100 km 徒歩の旅」のような本当の意味のボランティアであれば継続する価値もある。
- ④サッカーなどの景品がエスカレートしてはいないか。RCは常に前面に出なくてもよい。前に出過ぎると、他のボランティアの出る幕が無くなってしまふ。RCの軸がぶれているような気がする。
- ⑤単年度事業ができなくなっているのが問題である。
- ⑥炉辺会合は飲み会ではない。シラフで2時間話し合い、その後、懇親会にすべきである。
- ⑦次年度のカラーを出してほしい。
- ⑧会長・幹事に任せる。我々は口を出さない。
- ⑨次年度は新プロジェクト・1年交換留学生・60周年の準備があるから、大変だと思う。
- ⑩役員をやらない人とやっている人の情報の差が激しい。理事会の情報をいかに会員に伝えるかを考えるべきである。そのためには、やはり理事の入れ替え期間を短くするべきである。
- ⑪女性会員を、募集してもよい。
- ⑫女性会員は、当面募集しない方がいい。
- ⑬RCはルールをあまり厳しくするべきではない。心が安まる場でなければならない。
- ⑭甲子園へ行くのは親睦のためには非常に良いことだが、すでに趣味の範囲と呼ぶべき活動なので、会員にカンパを募らないでほしい。
- ⑮以前のように、会員の奥様方だけで、ジャズコンサート・演劇鑑賞・美術館巡りなどを企画するのはどうか。昼食を交え、近間で日帰りの行程であれば、参加者は増えるのではないか。

<炉辺を終えて感じたこと>

PPとの意見交換会は非常に価値のある会合である。自分も含め、経験が浅い会員は、是非とも出席して先輩方に教えを請うべきである。

以上、Bグループの炉辺発表とさせていただきます。

Cグループ

馬場 照夫 君

5月22日(月)

於:フォーシーズン静風

参加者:会員 8名

市村幹事同席

<会員よりの意見>



議題1 新社会奉仕事業の概要について

- ①奨学金の申請にあたり、中学校3年生全員を対象に、申請書を配布するとあるが、学校の先生は、生徒の経済状況を一番把握していることから、個人情報の保護を十分に配慮した上、各学校において、支給対象者を選考していくことも、一つの方法ではないか。
- ②60周年事業として取り組む上から、事業の実施前に、どの程度の人が、本制度の利用を希望しているのかどうか、事前アンケート調査などを実施してもよいではないか。
- ③支給対象者の選考に際して、どの程度の個人情報を提出してもらうのか。
- ④本事業の継続性、選考決定の公平性、透明性、客観性の観点から、選考基準の明確化には、十二分に配慮すべきではないか。
- ⑤生活保護受給世帯を対象としているが、一部の奨学金を除き、各種手当金は、収入として認定された上で、生活保護費が支給されている。本制度による奨学金も、収入として認定されると、実質的な経済支援につながらない可能性があるのではないか。
- ⑥奨学金の支給方法は、年間一括方式を基本としてはどうか。
- ⑦支給対象者について、高校3年間の中で、各世帯の経済状況が変化することから、毎年度、支給要件を満たしているかどうかを確認していくことが必要ではないか。
- ⑧事業の将来的な展望において、各企業等からの寄付などを前提としていけば、税金の寄付金控除を受けられるよう、制度の検討を進めてはどうか。

議題2 次年度事業への要望について

60周年に向け、会員の拡大に、会員一丸となって、積極的に、取り組んでいくべきである。

以上、Cグループの炉辺発表とさせていただきます。

Dグループ

柳澤 正弘 君

5月17日(水)

於:けやき会館

参加者:会員 8名

宇賀神会長・市村幹事同席

<会員よりの意見>

議題1 新社会奉仕事業の概要について

度重なる検討委員会での慎重な議論において、その概要はもとより、かなり詳細な部分まで煮詰められていることを



認識した。今回の炉辺会合においては、その事業内容を一つ一つ検証するのではなく、この事業を継続させるための意義やその施策について、活発な議論が酌み交されました。

当クラブに所属する会員の地域に限定し、「社会奉仕活動による地域貢献を目指す」という理念の下、この事業を継続させるための重要なポイントとして、

- ① 会員の経済負担についてである。会費やスマイルボックスと合わせて費用を負担するにあたり、その軽減を図るため、出来ることは幅広く資金を調達できるシステムを築き上げることである。会員からの捻出のみに頼るだけでなく、企業献金募集やクラウドファンディングの活用による原資確保等、様々な方策を模索することが重要である。もう一つは、将来的に会員からの徴収額を年会費に組み込むことも視野に入れ、会員の増強をさらに加速させることである。
- ② この事業をいかに継続させることができるかである。前例の少ない珍しい方式が故、この事業における責任者は、軌道に乗るまで5年程度変わらないことが望ましい。多くの会員の理解が得られることが事業成功の条件であると思われる。奨学金の受給者が将来、真岡ロータリーの会員となることを目標に、新たな一歩を踏み出そうといふことでまとまりました。

議題2 次年度事業への要望について
この事業の具体的な事業内容ではなく、当クラブの理念について話し合いがなされました。

設立60周年の記念すべき年度に向けて、52名の会員は、平等の立場で団結し、協力し合う体制。若い会員は先輩を敬い、また、先輩会員は公認をしっかり育成する風土を築き上げることが何よりも大切であるとのアドバイスを頂きました。その中で、新入会員たちがクラブに対する貢献が認められる。表彰に値する。との暖かい励ましの言葉もいただきました。また、次年度会長に一言、抱負を求めたところ「手に手つないで ロータリー愛」と本当に一言だけ言葉を頂戴いたしました。

最後に、当クラブは伝統ある由緒正しきクラブである。他のクラブのモデルケースとなるような独自性と団結力を持って、各事業を成功させましょう。

以上、Dグループの炉辺発表とさせていただきます。

■出席報告

出席委員会 柳澤 正弘 君



■月間予定（6月）																													
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
月							内							最							特							特	
初							部							終							別							別	
会							卓							例							休							休	
							話							会							会							会	

本日のプログラム
6/1(木) 月初会
(お誕生日・結婚記念日祝)

在籍 52名		出席免除者2名(有資格者 2名 + 有理由者 0名)						
例会日	出席義務	事前MU	事後MU	実出席者	内免除者	欠席者	出席率	月間出席率
補正後 5月11日	50	1	3	43	1	4	92.16%	月 %
本日 5月25日	50	7	-	39	1	5	90.20%	

次回のプログラム
6/8(木) 内部卓話
(会長・幹事総括)

7月出席率	8月出席率	9月出席率	10月出席率	11月出席率	12月出席率	1月出席率	2月出席率	3月出席率	4月出席率	5月出席率	6月出席率
95.05%	93.39%	94.03%	86.69%	91.91%	93.88%	91.89%	91.02%	90.46%			

※例会欠席はAM11:00までに必ずTEL.0285(04)2511 FAX.0285(04)2510にて事務局までお知らせください。